

BEA VOICE

HY

LIVE HY STORY TOUR ～うさがみそーれ めんそーれ そーれそれゆくいみそーれ～

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 9.22(土) 宜野湾海浜公園屋外劇場(沖縄) | 12.2(日) 荒尾総合文化センター(熊本) |
| 11.4(日) 壱岐の島ホール(長崎) | 12.4(火) 鹿児島市民文化ホール第一(鹿児島) |
| 11.10(土) 日向市文化交流センター(宮崎) | 12.15(土) 福岡市民会館(福岡) |
| 11.11(日) 久留米シティプラザ ザ・グランドホール(福岡) | 12.16(日) 宇佐文化会館・ウサノビア(大分) |
| 12.1(土) 佐賀市文化会館(佐賀) | 3.9(土) アルカスSASEBO(長崎) |

色褪せない、いくつもの
ストーリーがここにある。
初のセルフカバーベストに奏でる、
HYの《いま》。



08
No.471 August 2018
The music magazine
that charms you.

INTERVIEW

怒髪天 炎上上等! これがロックバンドの本懐だ。

**Creepy Nuts
BAND-MAID**

こいつらは、次に何を言うのか。
人間的に興味をそそられる発信者でありたい。
数々の“お給仕”を通して気づいた
“ご主人様・お嬢様”に寄り添うことの意義。

LIVE REPORT

UVERworld

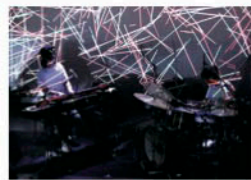
福岡初のVSシリーズ開催!
イデオロギーと情熱を濃縮した一夜。



Plastic Tree
ネオビジュアル系バンド界のバイオニック的ロックバンド。7/25に発売となったニュー・シングル「インサイドアウト」のレコ発ツアーを発表!
>9/22(土) 熊本B.9 V1
>9/23(日・祝) DRUM LOGOS



Juliet
8/8にニュー・アルバム「CAMEL」を発売。ブルーノ・マーズのカヴァーや、映画『三十路女はロマンチックな夢を見るか?』の主題歌「Aqua」などを収録。アルバムを携え全国5都市でライブ!
>9/24(月・休) DRUM Be-1



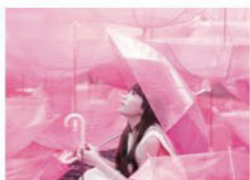
グッドラックヘイワ
野村卓史(Key)と伊藤大地(Dr,口笛)によるインストゥルメンタル・デュオ。映像作家・山口崇司とのコラボで好評を得た映像ツアーの第2弾は、フルート奏者の曾我大穂をゲストに迎えて。
>10/5(金) FUKUOKA BEAT STATION



クリープハイブ
9/26に5thアルバム『泣きたくなくなるほど嬉しい日々』をリリースする。映画『帝一の國』の主題歌「イト」をはじめ、タイアップ曲多数!
>10/13(土) DRUM Be-0 [大分]
>12/1(土),2(日) DRUM LOGOS



奇妙礼太郎
前作より1年ぶりとなるニュー・アルバムを9/26にリリース。9月公開映画『愛しのアイリーン』の主題歌「水面の輪舞曲」を含む10曲収録予定。アルバムを引っさげ、バンドセットで全国行脚。
>10/28(日) FUKUOKA BEAT STATION



Aimer
一度聴いたら忘れられない、深みのあるハスキーヴォイスが話題のAimer。バリエーションに富んだ3曲を掲げたトリプルAサイドシングルが9/5にリリース決定。10月からは全国ホールツアーも。
>11/3(土・祝) 福岡サンパレスホテル&ホール



め組
'15年に結成された“世界の屋根打つ雨のリズム系”バンド。ヴォーカル・ギターの菅原達也の生み出す個性豊かな楽曲と、クワイジーな合言葉でオーティエンスを沸かすライブパフォーマンスは必見!
>11/3(土・祝) Queblick



eastern youth
エモーショナルなハード・コアサウンドに日本語をのせた独特なスタイルで、多くのバンドに影響を与えてきたeastern youth。結成30周年の節目となる今年、新たな挑戦と決意をもって挑む全国ツアー。
>11/10(土) DRUM Be-1



フレンズ
初のフル・アルバム「コン・パチ!」を8/1にリリース。バンド結成のきっかけとなった『ベッドサイドミュージック』など、全12曲収録。9月末の東京公演を皮切りに、ファンツアーがスタート!
>11/11(日) FUKUOKA BEAT STATION



加藤登紀子
年末恒例の“ほろ酔いコンサート”が、約3年ぶりに福岡に帰ってくる! 美味しい振る舞い酒と、お登紀さんの心あたたまるステージ。『百万本のバラ』『知床旅情』など、名曲の数々に酔いしれたい。
>11/16(金) レソラホール



indigo la End
川谷絵音率いるindigo la End。7/18にニュー・アルバム「PULSATE」をリリース&全国ツアー“1988”を敢行!
>11/16(金) DRUM LOGOS
>11/17(土) DRUM Be-7 [長崎]



サンボマスター
8/15にシングル・リリースとなるTBS系ドラマ「チア☆ダン」の主題歌「輝きだして走って」に続き、初の日本武道館公演を収めた映像作品が9/12に発売決定! ツアー前に是非チェックしたい!
>11/23(金・祝) DRUM LOGOS

◀◀◀◀◀ Perfume

オリジナル・アルバムとしては通算7枚目、前作「COSMIC EXPLORER」から約2年ぶりとなるニュー・アルバム「Future Pop」が8/15にリリースされる。シングル曲の「TOKYO GIRL」「If you wanna」「無限未来」の他、今作のために録り下ろされた新曲も多数収録。さらに、2年ぶりの全国アリーナツアーが決定! メジャー・デビュー記念日となる9/21(金)に、Perfume初上陸の長野からスタートし、全国9カ所18公演を実施!
>12/23(日・祝),24(月・休) マリンメッセ福岡



谷山浩子
昨年4月に東京国際フォーラム ホールCにて開催された45周年の記念ライブを収めたアルバム「谷山浩子コンサート 〜デビュー45周年大収穫祭〜」が9/12にリリースされる。秋からはソロツアーを開催。
>11/23(金・祝),24(土),25(日) ROOMS



四星球
10月より“四星中学校ツアー”が開催される。各公演には“文化祭・修学旅行・運動会”のいずれかのサブタイトルが付けられており、それぞれでテーマと来場者特典が異なるというユニークな企画も!
>11/24(土) FUKUOKA BEAT STATION



BUCK-TICK
全国19カ所21公演をまわるスタンディングツアーがアナウンスされた。最新アルバム『No.0』の世界がどのように展開されるのか注目!
>12/16(日) Zepp Fukuoka
>12/20(木) 熊本B.9 V1



Superorganism
日本人のティーンエイジャー・Oronoがヴォーカルを務める8人組多国籍バンド。'18年最も期待される新人アーティストとして、ここ日本でも注目を集める彼らが、来年1月に待望の来福を果たす。
>1/25(金) FUKUOKA BEAT STATION



山崎育三郎
ドラマ、映画、ミュージカルと大活躍中の山崎育三郎が、初のオリジナル・アルバム「LAND」を7/25にリリース。年明けには全国ツアーも決定し、甘く気品のある歌声で女性ファンを魅了する。
>2/2(土) 福岡国際会議場メインホール



jizue
New Album「ROOM」Release Tour jizue X COLTECO w/ COLTECO
11月16日(金) 福岡ROOMS



大森靖子
超歌手 大森靖子「ツノカフPARTY」TOUR
10月14日(日) FUKUOKA BEAT STATION



亜無亜危異 (アナーキー)
パンクロックの伝説 TOUR 2018
11月21日(水) 福岡 the voodoo lounge



GREAT TRIANGLE TOUR 2018



PELICAN FANCLUB / Age Factory
パノラマパナマタウン
9月9日(日) 福岡 LIVE HOUSE CB



JAPAHARINET
12月8日(土) 福岡 LIVE HOUSE CB
12月9日(日) 熊本Django



KNOCK OUT MONKEY
[KNOCK OUT MONKEY TOUR2018-2019]
10月14日(日) 福岡 DRUM SON



heidi.
Live Tour 2018 -Que-sera-sera-
9月8日(土) 福岡 DRUM SON



戸渡陽太
10巻勝負・番外編・福院・ゲスト・片平聖奈
8月24日(金) 福岡 UTERO



須澤紀信
9月29日(土) 福岡 LIV LABO



SPiCYSOL
2nd Album「Mellow Yellow」Release Tour
"Gonna be a # good day"
9月17日(月・祝) 福岡 ROOMS



Cornelius
10月3日(水) 福岡国際会議場メインホール



DaizyStripper
9月8日(土),9日(日) 福岡 DRUM Be-1



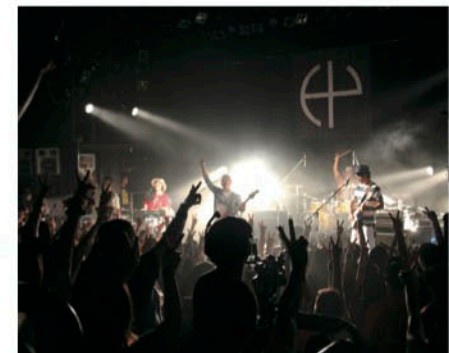
DEZERT
8月25日(土),26日(日) 福岡 DRUM Be-1



clammbon
8月25日(土) 長崎 DRUM Be-7
8月26日(日) 熊本 B.9 V1
9月16日(日),17日(月・祝)
FUKUOKA BEAT STATION



B'z Loud-Gym
~LA NIGHT 2~
8月23日(木) 福岡 DRUM Be-1
8月23日(木) 佐賀 GEILS
8月23日(木) 長崎 DRUM Be-7
8月23日(木) 大分 DRUM Be-0
8月23日(木) 熊本 B.9 V1
8月23日(木) 宮崎 SR BOX
8月23日(木) 鹿児島 CAPARVO HALL
www.bz-vermillion.com
©B'z Loud-Gymにメンバーの出演はございません。



「ベストアルバムをリリースできることは本当に嬉しいですね。僕の夢の一つでした。HYを結成して18年、新録音にしたのは今のHY、35歳のフレッシュ感を出したかったのと、何時も応援してくれるファンの方々に感謝の気持ちを含めたかったから。ここからHYは20周年に向けて盛り上げていきたいと思ってるんです。そのためスタートダッシュですー」(新里英之 Vo.Gt)

結成20周年に先駆け、ベストアルバム『STORY〜HY BEST〜』をリリースするHY。無論ファンにとっては待望のベスト盤だが、冒頭の言葉からはバンドにとっても念願だったことが伺える。収録曲はファンクエストの上位楽曲を中心に、「ホワイトビーチ」や「Street Story」366日等の初期から現在に至る名曲、代表曲と謳われる全30曲。うち22曲を現在のバンド感で再レコーディングした。その制作過程は非常に楽しいものだったそう。

「音楽的理論を無視して作ってた初期の楽曲の自由度が物凄くて、メンバーでも余裕ができるので雰囲気自体が僕は良かったかな。あとマネージャーが飯を作ってくれるし、俊と(宮里)悠平

とでお約束になっていた。カフエラちゃんけん、ほぼタダで美味しいラテを飲むことができました(笑)」(許田信介 Ba)

「ミュージシャンとしての初期衝動の面白さと成長の実感、加えて高校生的やりとりが変わらぬ仲の良さも感じさせるポイントだが、さらに仲宗根曰く「新たな発見がまたHYらしい。」

「今まで散々ライブでも昔の曲を弾いてきたのに、レコーディングを直すために昔の音源を聴いて、昔の感じで弾き直そうとしたら全く弾けなかった。これは新たな発見でした(笑)。昔よりは確実に腕が上がっているはずなのに、昔の音数が少ないやつを弾けないという」(笑) 当時のグルーブ感を出すのに、メンバー皆、大変なことになってました(笑)」(仲宗根泉 Key.Vo)

「そう言いつつも『アルバム毎に色々なアレンジをしてたり、その時の音楽の向き合い方が見えましたね。こういうことやってたんだとか細かい発見もありました。当時の音や勢いとかはどうかとも真似できないけど、今は今で当時でよかったニアンスを出すことができたので、満足いくレコーディングになりました(宮里悠平 Gt)と、年月を経たからその気持ちも得ながら録音された本作の楽曲たち。制作当時の音源が新芽の放つみずみずしさだとするならば、本作の音源は年輪を重ねた樹の幹が蓄える豊潤さに満ちている。」

「まさに、私自身もそう感じていました。あの頃がむしろ若い音は出さずとも思ってもう出せません。色々な事を経験した今だからこそ妻でることが出来る音だなあと。昔の音も今の音もその瞬間に感じた音を表現しての、

私はどちらも好きです(仲宗根)

そんな仲宗根の歌の変容も特筆すべき点だ。18年間で少しずつ包容力を蓄えた彼女の歌は今、太陽や大地のような父性的なエネルギーも満月の海のような母性的な優しさももった大きな歌となった。それが、屈託なく益々少年性を湛えた新里の歌との絶妙なハーモニーを生んでいるのだ。

「子どもを身ごもったあたりから、今までは鋭い歌い方だったのに母性を感じさせるような声質になったね」と周りから言われることが多くなったんですが、私的にはあまりそんな気はしてないんです(笑)。長い歳月の間に歌い方が変わってきたからかなという感じです。でも、歌い方が変わっても歌う姿勢は昔から変わらない。歌詞の通りに誰かを思っている誰かに届けたくて歌う。うまく歌おうとせず、感情を届けるのが私なりの歌い方ですね(仲宗根)

そして、このベスト盤と18年間のリスナーへの感謝を携え、9月22日からは全国ツアーへ。宜野湾海浜公園屋外劇場を皮切りに、約半年をかけ全都道府県で49公演を敢行する。九州は11月の巻岐や久留米ほか9か所にて、いずれもHYの今をあなたの心に刻み込む一夜になるに違いない。

「今回はベストを中心にしていくので来てくれた皆さんの思い出と一緒に歌に乗せて大合唱したいですね。だからHYのライブを少し無沙汰していた方にも是非遊びに来て欲しい。思いきり、リフレッシュしに来てください(新里)

「思い出の曲達と一緒に歌って願いで、あの日のあなたと今のあなたを繋げるライブにしていきたいですね(名嘉)

「久しぶりに行く土地やその土地で待つ

HY (エイチワイ)
 '00年、沖縄県うるま市東屋敷名(Higashi Yakena)にて結成。新里英之(Vo.Gt)、名嘉俊(Dr)、許田信介(Ba)、仲宗根泉(Key.Vo)、宮里悠平(Gt)から成る。ストリートライブにはじまり、'01年に1stアルバム『Departure』を発表。一躍、全国区へ。'03年リリースの2ndアルバム『Street Story』でミリオンセールス達成。以降、現在までにオリジナルアルバム12作をリリース。5thアルバム『HeartY』収録の『366日』は映画×ドラマ『赤い糸』主題歌に抜擢され大ヒットとなった。過去3度の全国47都道府県ツアーや海外ツアー、主催フェスの敢行など勢力的なライブへの評価も高い。'13年に自主レーベル「ASSE!! Records」を設立。現在も「More Local, More Global」をテーマに地元・沖縄の地に根ざした活動を展開中。また、昨年より新里と仲宗根はソロ活動も積極的に行っている。 <https://hy-road.net/>

てる方々に会えるのを僕らも楽しみにしています。皆さんにずっと応援していただくな。と思いついたただけるような、そんなステージを目指して頑張っていきます。そしてまた新しいリスナーを巻き込んでいきたいと思えます(許田)

「一緒に歌うことはもちろん、私達のパフォーマンスを見てもらって、さらに進化したHYと、あの頃と変わらないHYとを、楽しんでいただけたら(仲宗根)

「みんなが当時聴いてくれた曲もやるだろうし、たくさんHYの曲に浸って感じて欲しいです。今年もパワフルに行きます(宮里)

色褪せない、いくつものストーリーがここにある。初のセルフカバーベストに奏でる、HYの《いま》。

取材/文:山崎聡美

HY

RELEASE

Self Cover Best Album 『STORY〜HY BEST〜』

- 初回限定盤(2CD+DVD) ¥4,860 (tax in)
- 通常盤(2CD) ¥3,780 (tax in)
- スペシャルプライス盤(初回プレス限定 1CD) ¥1,944 (tax in)

8.22 ON SALE ユニバーサルミュージック



<2CD収録曲>
 (DISC.1) 1. ホワイトビーチ / 2. 革命 / 3. Ocean / 4. 旅立ち / 5. AM11:00 / 6. 隣福丸 / 7. あなた / 8. さあ行こう / 9. Street Story / 10. てがみ / 11. そこにあるべきではないもの / 12. Song for... / 13. モノクロ / 14. canvas / 15. NAO
 (DISC.2) 1. 未来 / 2. 366日 / 3. 時をこえ / 4. ガジュマルビート / 5. 南風 / 6. いちばん近くに / 7. 帰る場所 / 8. エール / 9. あなたを想う風 / 10. my friend / 11. 風になって花になって / 12. スマイル / 13. HAPPY / 14. 三月の陽炎 / 15. Fortune



Tribute Album 『CHANPURU STORY ~HY tribute~』

ユニバーサルミュージック / ¥2,700 (tax in)
 8.8 ON SALE

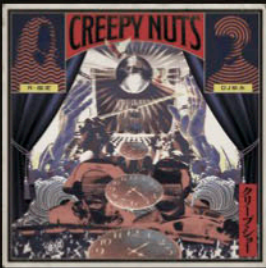
HYと親交あるアーティスト達によるトリビュート盤もリリース! ネーネーズ『366日』、MONGOL800『隣福丸』、青山テルマ『昔の人よ』、清水翔太『Song for...』等々を収録。「曲はアーティストの皆様が決めて貰いました。それぞれのカラーが出ていて、また新しい歌詞の捉え方ができる。本当に最高です。ベストより売れるんじゃないかな〜(笑)」(新里)。「ネーネーズのアレンジをしたよしろう君(※沖縄在住のギタリスト・前濱吉郎)とは仲が良く、聴いた後すぐに電話して「サイコーだった!」と伝えました。こうして色々な人と繋がれて嬉しいです(宮里)。

LIVE

HY STORY TOUR ~うさがみそーれめんそーれ そーれそれそれゆくいみそーれ~

- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|-------------------|
| 9.22(土) | 宜野湾海浜公園屋外劇場(沖縄) | 12.2(日) | 荒尾総合文化センター(熊本) |
| 11.4(日) | 壱岐の島ホール(長崎) | 12.4(火) | 鹿児島市民文化ホール第一(鹿児島) |
| 11.10(土) | 日向市文化交流センター(宮崎) | 12.15(土) | 福岡市民会館(福岡) |
| 11.11(日) | 久留米シティプラザ ザ・グランドホール(福岡) | 12.16(日) | 宇佐文化会館・ウサノピア(大分) |
| 12.1(土) | 佐賀市文化会館(佐賀) | 3.9(土) | アルカスSASEBO(長崎) |

※詳しくはBEA-NETをご覧下さい。



New Album

クリープ・ショー

ソニーミュージック
NOW ON SALE

Creepy Nuts

こいつらは、次に何を言うのか。
人間的に興味をそそられる発信者でありたい。

取材 / 文：里中雄

「普通の生い立ちで、不良でもない、むしろ端っこにいたタイプ。そんな劣等感や悶々とする日々を背景にクリエイションして、HIP-HOPイスマを提示するCreepy Nuts。MCバトル日本一のラッパー（R指定）と、凄腕DJ松永（DJ松永）とトラップクメイカー（DJ松永）による最新作『クリープ・ショー』は初のフル・アルバムになる。今回は先に福岡入りしたDJ松永に話を聞けるチャンスがで、R指定不在の中、単独インタビューが実現。さっそく待望作について尋ねると、「本来もっと早く届けたいんですけど、なにか僕我々の制作スピードが遅くて（笑）。もはやアルバムなんて一生出来ないうもって思っていましたから」。

R指定の歌詞は、ダブルミーニングや空耳で別の単語の意味も含ませていたり、凝る範囲は細部にわたる。時間がかかると、松永はそれがCreepy Nutsの正解だと解している。

「HIP-HOPは基本自分語りのジャンル。身を削る作業になってくるから、体力の消耗も激しい。それに、歌詞カードに注釈入れたら一面が真っ赤になるほど言葉遊びに凝っているから、必然的に時間はかかりますよね。俺の親しくしている友人がR指定の歌詞を見て、「取り替え不可能の言葉の連なりだ」と絶賛してくれたのですが、俺も本当にそう思います」。

ヒット曲「たりないふたり」

「助演男優賞」では、負けている人間。からの目線がジャンルを越え多くの共感を呼び、HIP-HOPシーンで真彩を放った。そこから約1年、「スポットライト」に、前を向いて胸を張って歩き出す成長した姿を投影させた。「ずっと日陰にいた心算で生きてきたけど、実は昔から自分の人生のスポットライトが当たっていた」というこの曲を最後に置いて、それまでの足跡を出した1枚です。新たなページに進む決意表明で終わる、総決算の作品になりました。クラブを飛び出し、バンド、アイドル、フェスなど、様々なステージに対応してきたキャッチーさと柔軟性を象徴する全12曲は、2人の現在地をきちんと刻み込んでいる。聞いて高まるのはライブ版「クリープ・ショー」への期待だ。今回は、アルバムをよりよく聞けるかなと思っていて、自分もそういう人間でありたいものです。身を削って選り出した言葉を伝える努力は怠らない。「でも、あくまでペンギン村みたいに平和な空間なので、安心して来てほしいです（笑）」。

後日、R指定から福岡のリスナーにコメントが届いた。「大好きな福岡で初のワンマンができるというのは非常に嬉しいです。気合を入れてやりますんで、ぜひ遊びに来て下さい」（R指定）。



写真プレゼント
応募方法はP.11をチェック!

Creepy Nuts (クリーピーナッツ)
MCバトルで3回の優勝を果たした経歴を持つラッパーR指定と、世界最大のDJ大会で国内2位、またTOC (Hiphym) のバックDJなどでも活躍するDJ松永によるユニット。16年に1stミニアルバム「たりないふたり」、17年に2ndミニアルバム「助演男優賞」を発表し、同年「高校デビュー」・「大学デビュー」・「全部失敗したけどメジャーデビュー」でメジャーデビュー。今年4月に、1stフルアルバム「クリープ・ショー」をリリースした。
<http://creepynuts.com>



Creepy Nuts ワンマンツアー
「クリープ・ショー 2018」
11.9(金) 福岡 DRUM LOGOS
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。



怒髪天



炎上上等!
これがロックバンドの本懐だ。

取材 / 文：なかしまさお

7月11日に最新アルバム「夷曲一揆」をリリースした怒髪天。タイトルにある「夷曲(ひなぶり)」とは、詩歌などが田舎風であること、またそのような詩歌」との意味(※諸説あり)があるが、そこに繋がる「揆」という言葉の強さ、またインパクト大のジャケットも含めて、ロックバンドとしての「本懐」がドン！と込められている。「東京に出てきて27年。未だに「よそ者感」が抜けない。田舎もん。だけど、最近はその「よそ者感」が、つて部分もすげえ感じて。そういう俺らの「訛りが残る田舎言葉の歌」で起こすレボリューション」だと増子直純(Vo)は思えば、緊迫した社会情勢の中でも、何とかエンターテインメントの力で明るい方へと変換してみせた昨年「赤い月」とは、明らかに違ったムードが漂っている。「そもそもロックバンドは世の中における余興係、宴会部長みたいな存在だから、基本的に平和じゃないと成り行かないわけ。けど、さすがにこの1年は激動だったし、いよいよ、こんなにストリートな言葉で言わなきゃ分かんない世の中になって来たのか!? っていう思いはあるよね。それでその杯に絡んだ某バンドの曲への非難と謝罪で、つい最近もネットが炎上したばかり。常々、ロックバンドにコンプライアンスなんかは不要」と言い続けてきた増子だけに、「もっと軽やかに、思ったことを言うのがロックバンドだと思っただよ。炎上等! と思ってそへ政治宗教そんなもんクソ喰らえだよ。批判なんてあって然り。何やっただって僻むつはいるし、君はそう思うのかもれないけど、俺はそうは思っていないよ。オッケーじゃない? じゃあ、次、あなたどうぞっていう、その感謝のし合いが大事なんだから!」と語気は強ま



る。「もちろん、空気を読む」つても日本人らしい配慮だし悪くはないよ? ただ、SNSの弊害なのが、最近行き過ぎてる。だから、今回はちゃんとどこかかなと思っただよ。超短気だ。全然炎上もしないだろうけど」とは言え、「希望丸より愛をこめて」の歌詞ではないが、バンドも、国も、いずれ沈みゆく運命の泥舟「それでも、そこを自覚して、やるんだ! ということだよ。そういう意味では、こんなアルバムを出させてくれたレコード会社、ホントすげえなと思うし、狂ってるよ、なんせ俺ら、泥舟なんだから笑。でも、右とか左とか関係なく、自分が正しいと思っただよ。それがロックバンドの本懐だろうな。秋からは九州公演、鹿児島、熊本、福岡を含む全国ツアーも決定。今回は八口バンドが理想や、夢歌わずにどうするVと歌う「HONKAI」をはじめ、シンガロング必至のナンパがスラリと語ったアルバム「ツアール」それだけに「振られて来た、一緒に歌えるぐらいい聴き込んで来てくれたら、ホント嬉しいよね。あと、今回の曲と地続きになっているような昔の曲もあつたりするし、そういうやつを今並べて演ったら面白そうだな。是非、その辺りも楽しみにしていて買えればと思います」。

New Album
夷曲一揆
Imperial Records
7.11 ON SALE

LIVE!
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。

一揆一友 TOUR ~権へ&田吾~
10.11(木) 鹿児島SRホール
10.13(土) 熊本B.9 V1
10.14(日) 福岡DRUM Be-1

怒髪天(DOHATSUN)
札幌にて結成。増子直純(Vo)、上原友康(Gt)、清水泰次(Ba)、坂詰克彦(Dr)。人間味溢れる増子の熱いキャラクター、圧倒的なライブパフォーマンスで幅広い層のファンを魅了。来年、結成35周年を迎える「JAPANESE R&E(リズム&演歌)」の旗。最新アルバム「ジャケ写」。「権マッパ」の正体はグループ魂の石像。ブックレット中面にも「だらしないう体の坂さんの写真が...」(増子)とのことなので是非、買って見比べてほしい。
<http://dohatsun.jp/>



UVERworld

UVERworld VS 韻シスト

7月9日(月)福岡DRUM LOGOS

福岡初のVSシリーズ開催！
イデオロギーと情熱を濃縮した一夜

文：蓮井 博 写真：藤村花紀

UVERworld SET LIST
M1. 7th Trigger
M2. DECIDED
M3. WE ARE GO
M4. 一滴の影響
M5. ODD FUTURE
M6. KINJITO
M7. Don't Think, Feel
M8. ALL ALONE
M9. PRAYING RUN
M10. Collide
～ HERE
M11. IMPACT
M12. 7日目の決意



UVERworldによる、VSシリーズが、福岡で初めて開催された。本シリーズは競演相手メンバー自ら指名してのガチンコライヴで、今回は全国4か所5公演を敢行。その4本目である福岡公演を迎えたのは関西ヒップホップシーンを代表するグループ・韻シスト。開演前のステージ背景にはデジタル時計が投影され、近く開演時間を1秒、また1秒と刻んでいく。フロアはもちろん全員御礼、オーディエンスで膨れ上がり波打つような熱気にあふれる中、定刻3秒前からのカウントダウンで先ず韻シストが登場。サラリとソフトかつポップに仕立て上げつつも、その実かなりエグくて中毒性の高いファンクネスでホットなコール&レスポンスを巻き起こす。手練のパフォーマンスに盛大な拍手を以て送られた韻シストの後を受け、いよいよUVERworldの登場である。いち早くステージに上がった真太郎(Dr)の猛々しいドラミングがますます会場をボルテージを上げていく。メンバーがひとりひとり姿を現し最後にTAKUYA(G)が迎え入れられる。怒りのような歓声とどよめきが広がり、超絶速ビートの『7th Trigger』で狂熱的なオープニング。そしてすぐ『DECIDED』へ、アシタイト

なブレイクと音に加え、TAKUYA(G)を真ん中に影(G)、誠果(Sax)、克哉(G)、信人(Ba)と5人がステージ最前に立ち並んだ迫力と親密さはファンには垂涎モノ、実にエキサイティング。さらにTAKUYA(G)は早くもフロアに突き上げられた無数のオーディエンスの腕から成る御輿に乗っている。現在の彼らの主戦場であるホールやアリーナクラスとは比較にならないほど物理的な距離の近さも手伝ってバンドとオーディエンスが交わり合っている熱量が凄まじい。『WE ARE GO』をフチかました後のMCでは、今宵の韻シストとの13年ぶりの対バンを叶えた喜びを、チケット買っただけの先輩にどうしても俺のライヴを観てほしくて」と語ったTAKUYA(G)。そして「13年前に対バンした時、たぶん俺らは相手にもされてなかった。それから今まで、一滴一滴を繋いで今日のこの景色がある。人の心を動かすホンモノのオンガクだけが正義！」と激憤を込めて「一滴の影響」をブレイク。以降、誠果の情熱を込めたサクサクが活きた『KINJITO』やアノキ2本の優し〜い音色が心に響き渡る『ALL ALONE』等々、何から解放されたかのようにな自由かつ高揚感に満ちたパフォーマンスで会場を盛り上げていく。彼らのイデオロギーをオーディエンスが全体として享受し共有していることを示すようなレスポンスも驚異的だった約1時間。ラストは会場一体となった『7日目の決意』。UVERworldという音楽への願いを成就させての大団円であった。



Best Album
ALL TIME BEST
7.18 ON SALE
メンバー選曲による「MEMBER BEST」、ファン投票による「FAN BEST」、バラード集「BALLADE BEST」の3枚組。



BAND-MAID

数々の“お給仕”を通して気づいた
“ご主人様・お嬢様”に寄り添うことの意義。

取材／文：岩崎洋明

LIVE!

BAND-MAID
WORLD DOMINATION TOUR
2018-2019
【侵略】

11.30(金)
福岡DRUM LOGOS
12.1(土)
熊本B.9 V1



New Single
start over
日本クラウン
7.25 ON SALE

新曲「start over」は、これまでのイメージを覆すポップな「ミニアムチュール」前アルバム『WORLD DOMINATION』で、ヘビーなサウンドを極限まで追求していたこともあり、まさに驚きを隠せない1曲だ。

「一度 原点に戻ってBAND-MAIDの音楽性を見つめ直す必要があると思ってたんです。というのでも『WORLD DOMINATION』で、自分たちが持っているヘビーな要素を全て出し尽くした感じもあったので、新曲で同じことをやっても意味がないなと。そのことをいっしょにデモを作ってくれたKANAMIに話すと、ちょっとカンパに陥っちゃって……。じゃあみんなで話し合おうよということになり、結成以来、初めてメンバーで会議をしました」(彩姫)

「それで私たちの原点って何たるかって考えてみたら、結成当初は、格好よさのなにもポップな要素があったことに気づいたつぼ。当時は作家さんに曲を書いてもらってたけど、今の私たちがいたら、ポップな曲でも自分たちらしく作れると思ったつぼ」(小嶋)

「曲の作り方も変わり、今まではKANAMIが作ったデモに作業しながら色付けしていったけど、今回は最初に5人で曲の方向性をしっかり話し合いました。そうすることで全員が意識がまとまり制作時間を短縮できたし、各々の意見を反映できて曲に広がりを出すことができました」(彩姫)

サウンドの変化は、活動するうえでこのサウンドの変化に大きく関係しているという。

「今まではかなり強気なスタンスで、音楽性や曲のよさを理解されなければ、それはそれでよしと考えていました。だけど、初めての場所でお給仕することが増えていくなかで、新しいご主人様・お嬢様でも分かりやすい曲が必要だと感じ、なによりみんなが歌えたほうが絶対に楽しいなと。歌い方にしてもメロディの覚えやすさを意識して、ナチュラールでシンプルになるよう心がけました」(彩姫)

「『start over』でガチロックをぶつけてくるあたり、やはり根幹にあるのはヘビーなサウンドであると再確認。しかし『start over』を聞いてしまった以下、バンドに秘められた可能性に期待してしまっただけの自然な流れだ。まずは9月からスタートするツアーで、進化中の5人の勇姿を見届けたい。」

「今回からツアータイトルが『宣告』から『侵略』に。侵略というからは、私たちの音楽を一方的に押しつけるんじゃないと、皆さんの中に入っていくかいないか。だからこそ、ご主人様・お嬢様に寄り添ったお給仕をすることが大切。九州でのワンマンは約1年ぶりだから、成長した姿を見せたいですね」(彩姫)

「福岡でのお給仕は地元元の熊本が近いので気合が入るけど、私の場合、入りすぎるとろくなことがなくて(笑)。だから今回はいい具合に力を抜いて臨み、うまく流れに乗って翌日に熊本でのお給仕を迎えたいつぼ。そして初めての方にも、もっと見たいと思ってもらえるように頑張るつぼ」(小嶋)

BAND-MAID (バンドメイド)
13年7月に、秋葉原のメイド喫茶で働いていた小嶋ミクを中心に結成。メンバーは、小嶋ミク(Gt.Vo)、MISA(Ba)、KANAMI(Gt)、AKANE(Dr)、同年ひと足遅れて加入した彩姫(Vo)の5人。16年5月にミニアルバム『Brand New MAID』でメジャーデビュー。衣装を“メイド服”、ライブを“お給仕”、観客を“ご主人様・お嬢様”と呼ぶメイドワールドとは相反する、ヘビーなロックサウンドが話題を集める。これまでに欧州や北米、中南米など世界を股にかけて活躍している。
<https://bandmaid.tokyo/>

